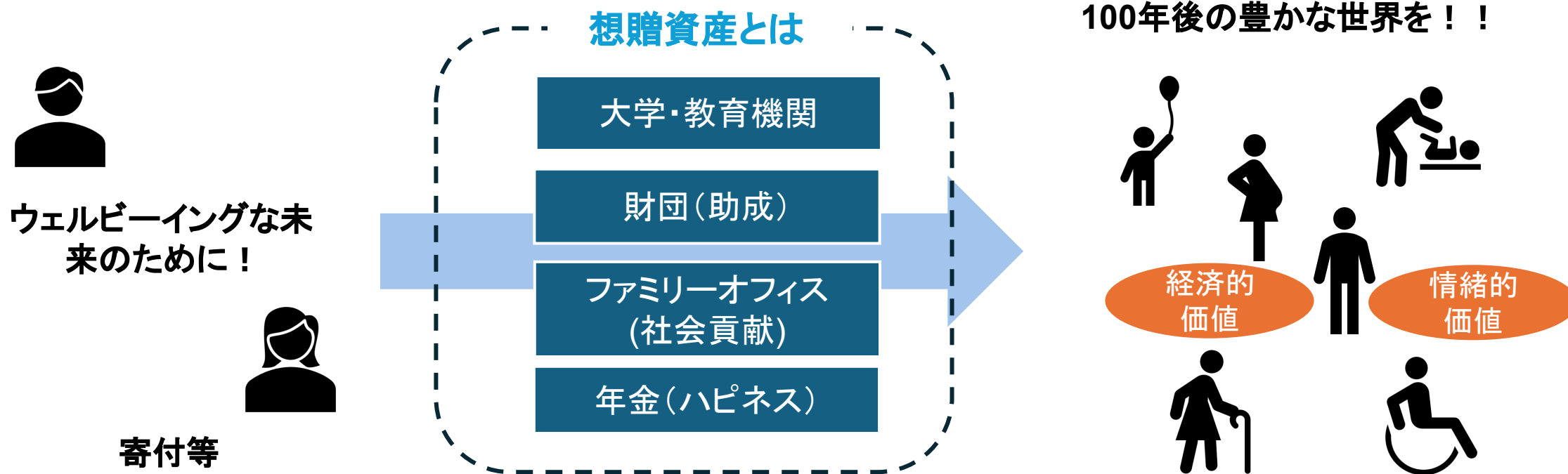


想贈資産研究所のご紹介

Funds for the Future



“想いを贈る資産”について一緒に考えませんか？



(課題) どうやって資産管理をすべきか？

想贈資産研究所のサービス

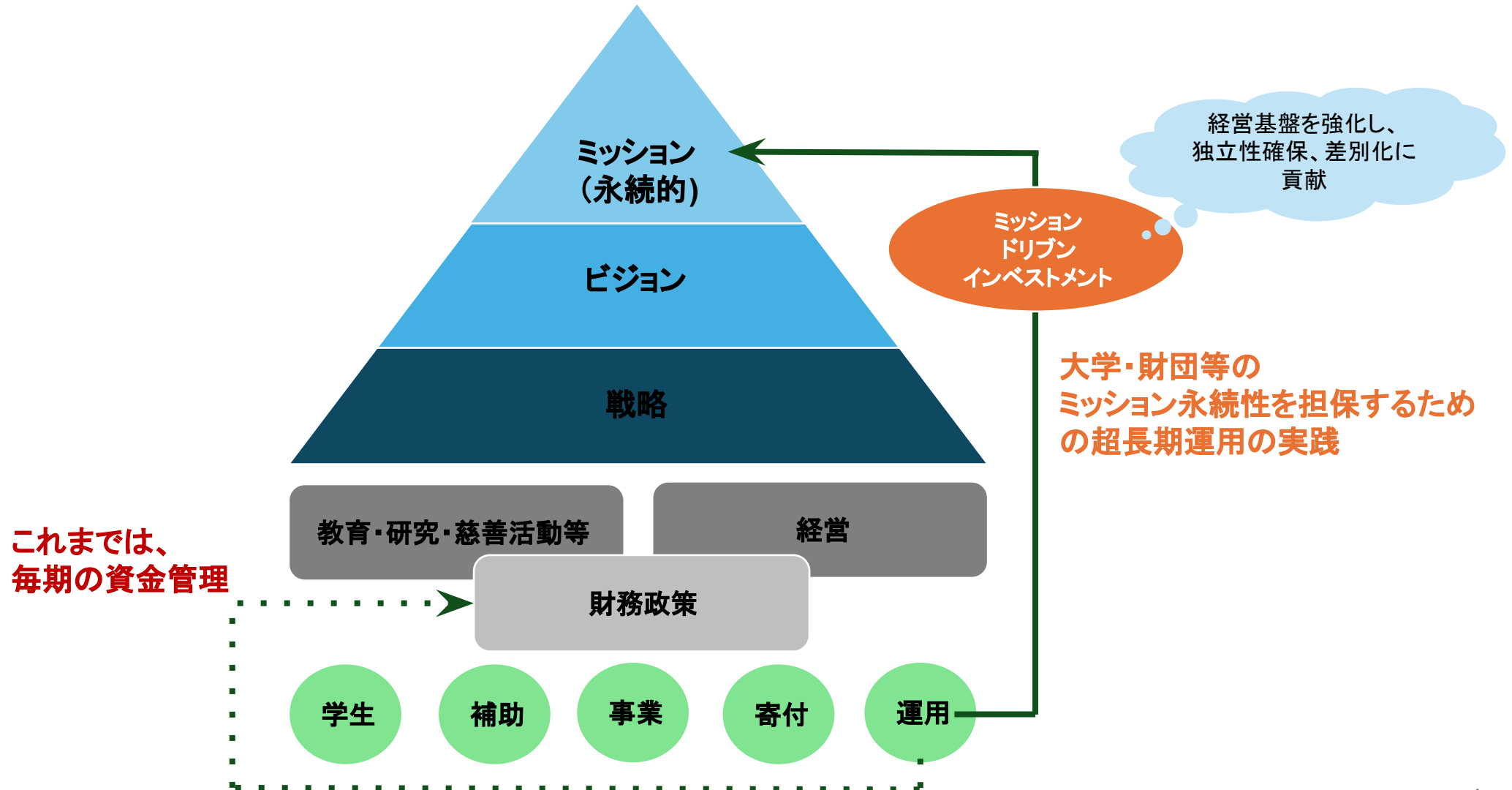
寄付と運用に関する調査・研究

資産管理に関するコンサルティング
(ガバナンスやプロセス構築、運用計画・見直し)

金融リテラシー向上プログラム
(セミナー・講演、出版活動)

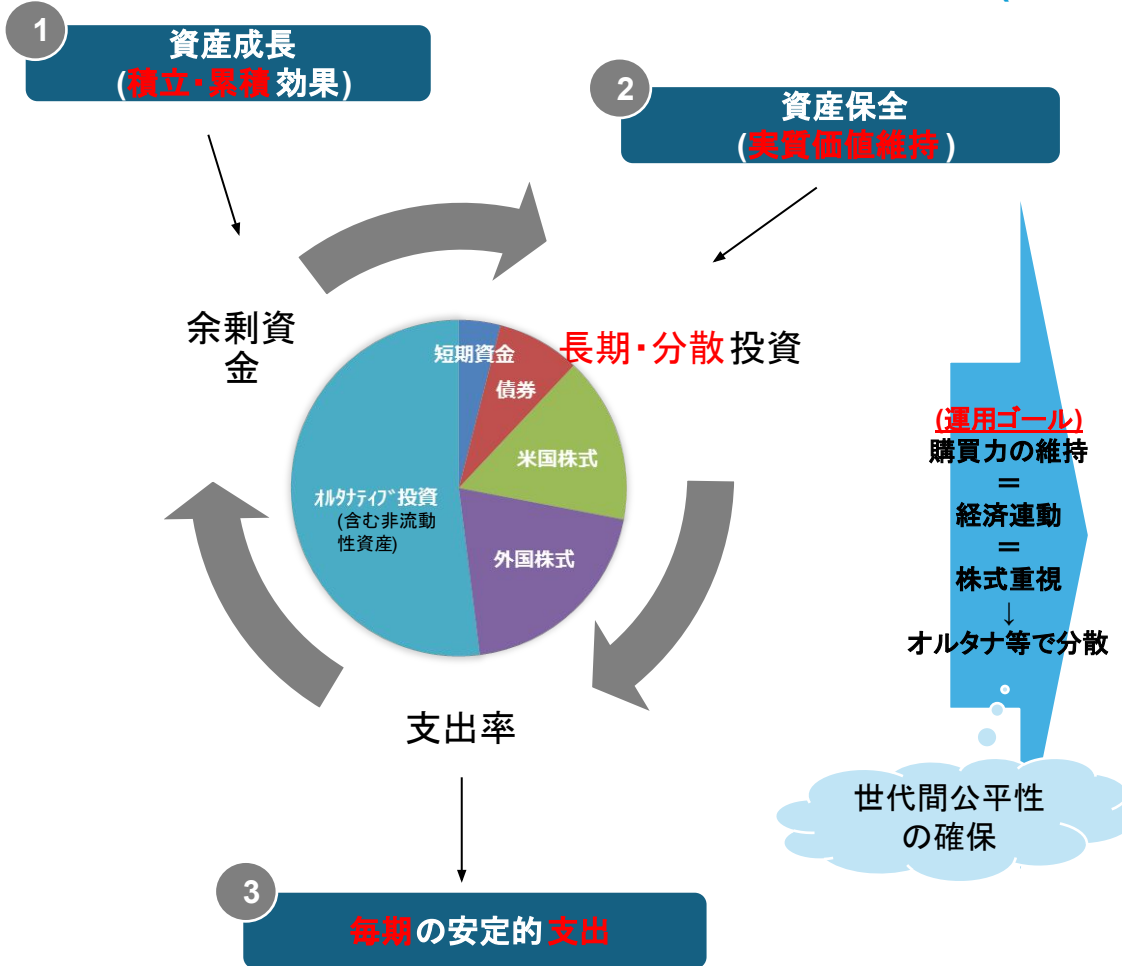
国内外のベストプラクティスの収集・共有

ミッション・ドリブン・インベストメントの提案

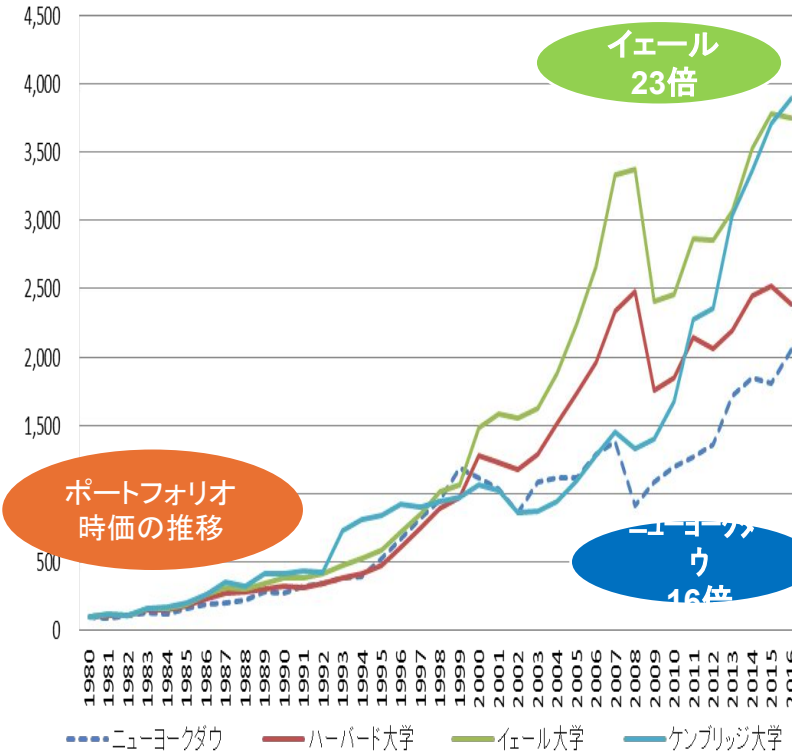


欧米エンダウメントモデルを日本へ！

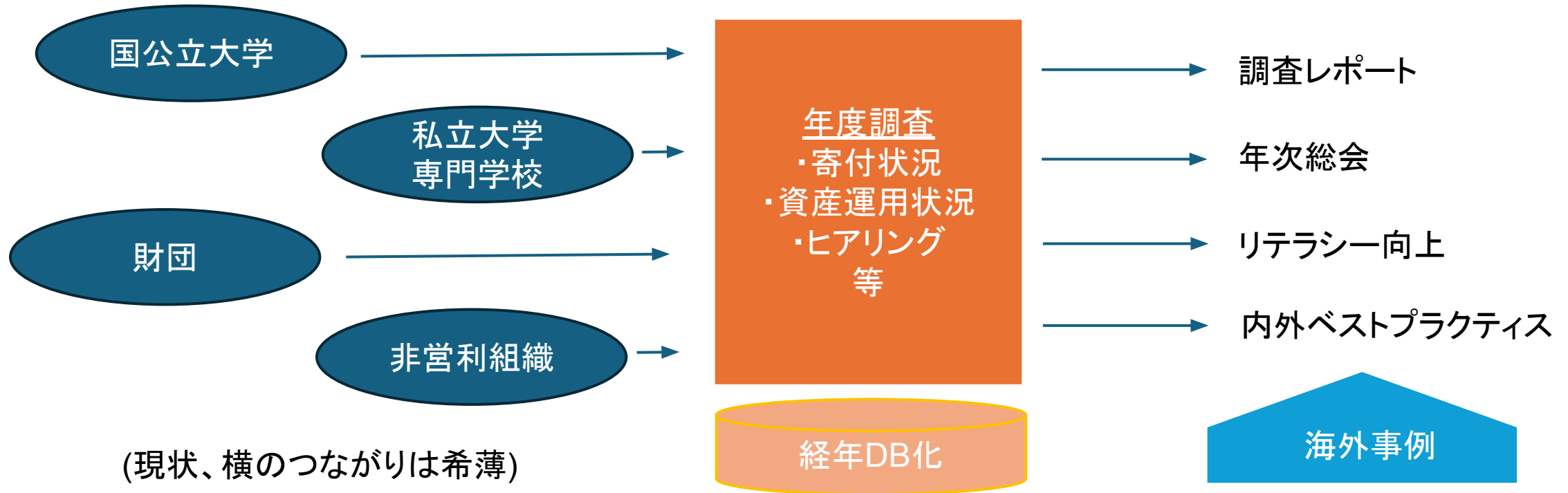
欧米大学基金の運用フレームワーク： 運用の果実から**毎期の支出**を行うと共に、
将来の設備投資等のためにお金の**「実質価値」(購買力)**を維持する**恒久的な**資産成長モデル



欧米エンダウメント運用の成果



日本版NACUBO Endowment Forum構想 ～ 啓蒙&実行への道程 ～



職歴

1988年3月 東京農工大学大学院工学研究科 修士課程修了
1988年4月 株式会社野村総合研究所 システムサイエンス部 研究員(クオンツアナリスト)
1990年8月 野村ローゼンバーク・インベストメント・テクノロジー・インスティテュート(NRITI) フィナンシャルエンジニア
1993年11月 株式会社野村総合研究所 副主任研究員 証券アナリストとして証券分析・コンサルタント
1997年4月 野村証券株式会社 金融研究所 主任研究員兼チーフ・コンサルタントとして大学・年金運用コンサルタント
2005年7月 野村ファンドリサーチ&テクノロジーズ アメリカ Inc.(NFR&TA) 社長兼CEO兼CIO オルタナティブFoFs運用
2009年4月 野村アセットマネジメント 投資顧問企画部 シニアマネジャー 年金運用向けトータル・ソリューションを提供
2011年4月 ブラックロック・ジャパン株式会社 コンサルタント・リレーションズ部長 コンサルタント対応及び年金ソリューション
2015年9月 野村アセットマネジメント株式会社 運用部 ソリューションCo-CIO 機関投資家向け運用ソリューション提供
2016年8月 同 マルチアセットCIO兼ソリューションCo-CIO 上記に加え、マルチアセット運用担当
2021年4月 同 マルチアセット&ソリューションズCo-CIO 兼機関投資家営業部SM 兼資産運用研究所主席研究員
2022年9月～ MABE Japan(現MA Alternatives)株式会社 代表取締役CEO兼CIO オルタナティブ運用
2024年2月～ 合同会社想贈資産研究所設立 代表



想贈資産研究所
代表 川原淳次
CMA
1級DCプランナー

主な活動

厚生労働省「受託者責任ガイドライン委員会」委員、国土交通省「不動産インデックス整備検討会」ワーキングメンバー等
私学事業団、大学基準協会、公益法人協会、FP協会、地銀や証券会社、証券アナリスト協会、finasee等で講演多数。
93年・94年日本証券アナリストジャーナル賞受賞。96年NRI特別賞受賞。

主な著作・論文

『株式運用と投資戦略』(共著 金財、1995年)、『ミューチュアルファンド入門』(共著 東洋経済新報社、1997年)、『投資信託の知識』(日経、2000年)、『日本の資本市場』(共著、東洋経済新報社、2002年)、『ケースと図解で学ぶ企業価値評価』(共著、日経、2003年)、『大学経営戦略』(東洋経済新報社、2004年)、『大学とガバナビリティー』(共著 学芸新書、2006年)、『大学・財団のためのミッション・ドリブン・インベストメント』(東洋経済新報社、2018年)、『ETF大全』(共著、日経、2021年)。
「受託者責任と最良執行～年金運用のクオリティ」(財界観測、1997年)、「米国ファンド・オブ・ファンズの現状と課題」(証券アナリストジャーナル、2008年9月)、「進化するリアルアセット～森林・農地投資」(ファンドマネジメント、2011年春季号)、「新たな本流、全天候型を目指すマルチアセット運用」(ファンドマネジメント、2012年春季号)、「機関投資家の課題と新潮流」(証券アナリストジャーナル、2016年4月)等。

金融リテラシー向上に向けたこれまでの実績

オンラインセミナー： 想研主催の例 (2023年)



【動画】オルタナティブ投資 発展の歴史

2023.12.25 7 post

書籍・ペーパー等：

株式運用と投資戦略 野村総合研究所 編

企業価値 ケースと図解で学ぶ 特集 ファンドオブファンズ

投資信託の知識 川原淳次

大学経営戦略

ETF Exchange Traded Fund

日本の実務家・投資家向けに書かれた待望の総合解説書

過去、現在、未来を支える エンダウメント運用 大学における資産運用の「考え方」の軸とは

Stratégies d'investissement au Japon

米国ファンドオブファンズの現状と課題

ジュディー・ポスニコフ, Ph. D 川原淳次 (日本証券アナリスト協会検定会員(CMA))

3. 終わりに

とと私募不動産ファンド

投資家から見たグローバル不動産投資の意義と課題

3. 終わりに

国においては、2011年に創設されたJ-REIT (不動産)が、市場関係者が不動産投資のグローバル化を認める、主として私募ファンドを通じて、不動産投資の。本稿では、不動産投資のグローバル化を押し進めけるグローバル不動産投資の実態を概観するとともに課題について検討する。

17 野村総合研究所入社。資本市場研究部企業価値研究グループマネージャー。アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴに在住。04年4月より現職。99年南カリフォルニア大学マーシャルビジネススクール修了 (MBA)。共著書に「検証・アメリカの資本市場改革」(日本経済新聞社、2002年) などがある。

川原 淳次 (かわはら じゅんじ)

1988年東京農工大学工学研究科修士課程修了後、同年野村総合研究所入社。野村證券金融経済研究所での年金・大学基金コンサルタントを経て、2005年9月より現職。02年および05年国土交通省「不動産インテグレーション懇話会」ワーキングメンバーに参加。03年および04年に証券アナリストジャーナル賞受賞。主な著書は「投資信託の知識」(日経文庫、2000年)、「大学経営戦略」(東洋経済新報社、2004年)。

<https://media.finasee.jp/list/members>

当資料中の記載内容は、全て当資料作成時以前のものであり、将来にわたって当資料の記載内容に依拠することができるわけではありません。また事前の連絡なしに変更される事があります。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のいかなる部分も一切の権利は想研資産研究所に属しておりますので、無断で複写等を行わないようお願い致します。



Funds for the Future

想贈資產 | Endowment & Foundation
研究所 | Research Institute